

水土里情報活用ニュース・レター

第 141 号

2020/12

目 次

1. 施設機能診断におけるモバイル端末を活用した現地調査方法の検討事例について紹介します
(福島県) … 1
2. 現地調査用GIS：水土里モバイルJSシステムについて紹介します (千葉県) … 3
3. 水土里情報システムを活用した施設情報等の管理について紹介します (大阪府) … 5
4. QGISを用いた水土里情報の活用事例について紹介します (徳島県) … 7
5. 水土里情報を活用した中山間地域等直接支払業務について紹介します (鹿児島県) … 9

■お問い合わせ先 (全体)

農村振興局整備部設計課計画調整室 長期計画班 高橋、北條 (電話番号) 03-6744-2201

今回紹介する団体：徳島県、水土里ネット徳島

取組概要

内容：従来、水土里情報利活用促進協議会会員が利用していた ArcGIS の簡易版である水土里 GISLight の代替として QGIS を導入し、水土里情報の QGIS 対応・オンラインマニュアルの公開等を実施した。

- 経緯：
- ① 水土里 GISLight は Windows10 では動作不可であり、令和 2 年 1 月 14 日の Windows7 サポート終了に伴い、水土里 GISLight の利用が出来なくなった。
 - ② 水土里 GISLight に代わる GIS ソフトの検討を行った結果、徳島県農林水産部で既に導入していた無償で使えるオープンソースの QGIS を採用した。
 - ③ 水土里 GISLight で利用していた水土里情報データ（農地筆、数値地図、オルソ画像等）を QGIS で利用出来るように gpkg（ジオパッケージ形式）に変換し、利便性の向上を図った。
 - ④ 水土里情報利活用促進協議会会員が簡易に QGIS を利用できるよう、オンラインマニュアルを作成した。令和 2 年 9 月 1 日、水土里情報利活用促進協議会研修会を開催し、県内 24 市町村全てに QGIS インストールプログラム及びジオパッケージに変換した水土里情報データを配布するとともに、オンラインマニュアルを公開した。

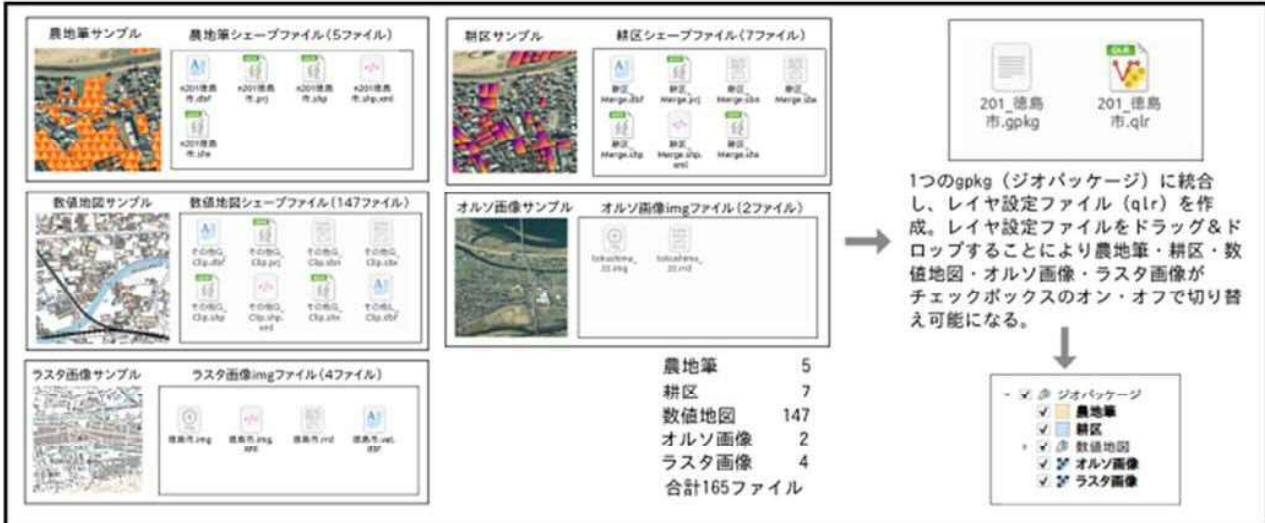
取組による効果

従来の水土里情報の数値地図はシェープファイル（shp）形式で保存されており、1つの地物に対して複数のファイルで構成されているため、数値地図全体で 100 を超えるファイルが存在した。データをコピーする際は1つでも欠けると動作しないため、不慣れな人にとってデータの受け渡しは大変な作業であった。また、シェープファイルは項目名に半角 10 文字（全角 5 文字）の制限があり、分かりやすい項目名にするにも限界があった。

QGIS はデフォルトで項目名の制限がないジオパッケージ（gpkg）形式を採用しており、同時にオルソ画像などのラスターデータも保存出来るため、1つのジオパッケージファイルで全ての水土里情報が利用出来るようになった。

また Android 端末に限られるが、QGIS 公認の Qfield という無償のアプリがあり、QGIS のデータをそのままコピーすれば Android 端末で閲覧・編集が可能のため、現地調査等への活用も考えられる。

水土里情報



QField



今後の活用予定

「QGIS」はスタンドアロンで利用団体が個別に空間解析を行う GIS ソフト、「e コミマップ」はクラウドでデータを一元化することにより、空間解析を行わない閲覧のみの GIS ソフトと位置付けて、二本立ての GIS ソフトで運用することにより、水土里情報の更なる利活用に繋げる。

GISシステムのバージョン情報

GIS エンジン : ArcGIS Desktop Ver10.5.1
 QGIS Ver3.10.10
 e コミマップ Ver2.4.1

■お問い合わせ先

徳島県土地改良事業団体連合会 事業課 地域保全担当

088-626-3936